

甲子園に備えて 選手たち宿舎入り



赤鬼の春Ⅱ 27

▲前回と異なる宿舎への期待を胸に宿舎入りする選手たち



▲出発時には学校に残る部員たちが手を振って見送った。

野球部は21日の15時50分ごろに本校からバスで出発し、17時30分ごろに宿舎に到着した。移動中のバスでは選手たちは数人でゲームをしたり音楽を聞いたり、リラククスした様子だった。また対戦相手である慶應義塾高校の試合の映像が流され、選手たちは試合に向けて意識を高めた。

監督の村中隆之先生は宿舎について「とても綺麗な宿舎。選手にはここで成長してもらいたい。遊びに来ているので、監督の村中隆之先生は宿舎について「とても綺麗な宿舎。選手にはここで成長してもらいたい。遊びに来ているので、

宿舎入りした選手からは「とても良い環境で、贅沢なくらい」「ちゃんと自己管理をしていきたい」「一人部屋なので不安だけど、逆に自分ですっかり考えて動く練習ができるので、今の僕たちにとっては良いと思う」「いよいよセンバツが近づいてきたと改めて実感した」「宿舎がとても綺麗。ベッドがふかふかで、腰が痛くなる心配もないのでよかったです」「親がいないので、自立していかねばいけません。自分たちが試されていると思うと楽しみ」などの声が挙がった。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

3月21日に甲子園に出場する選手たちが宿舎入りをした。今回の宿舎は昨夏とは異なり大阪府大阪市にあるアパヴィラホテルだ。選手たちはここで28日の強豪・慶応高校との試合に備える。



▲出発前に笑顔を見せる選手たち